

介護の人材不足解消に

党愛知 生活支援ロボットを調査
県議団



公明党愛知県議団(渡会 72歳、全幅56歳の小型サイ
克明団長)はこのほど、介 ズで狭い空間でも使える。
護現場で高齢者の座位から
立位への移乗などをサポー
トする生活支援ロボット

「Hug(ハグ)」を開発
した富士機械製造株式会
社を訪れ、介護分野での先
進的な取り組みについて調
査した。

この介護ロボットは、利
用者の体の大きさに合わせ
て座位から立位への軌道を
計算し、立ち上がりをサポ
ートする。足に重心を移動
させるように立ち上がれる
ので、利用者の残っている
脚力を最大限に生かせるの
が特長。介助者がボタンで
簡易に操作できる上、全長

生活支援ロボット「Hug」
について説明を受ける党愛
知県議団(後列5人)

同社は、これまで主に電
子部品装着機など産業機器
を製造してきたが、今回は
その技術を生かし介護ロボ
ットを開発した。

県議団は担当者から製品
の説明を受けた後、国から
の購入補助金のあり方に関
する課題や介護施設におけ
るニーズを聞いた。渡会団
長は「介護分野での人手不
足の解消に向け、今後もロ
ボットの開発、実用化を支
援していきたい」と話した。